

## 国土交通省渡良瀬川河川事務所の被災状況とその対策について

平成23年3月14日13時00分現在

3月11日14時46分頃に発生した地震による、渡良瀬川河川事務所の管理施設に対して、工事に入るまでの安全対策と補修を下記のように行います。

地先名	被災内容	補修までの対策	補修方法
渡良瀬川 左岸 15.75k 右岸 15.75 ~ 16.5k 右岸 16.5k 右岸 17.25 ~ 17.5k 右岸 18.5k 左岸 19.25k 右岸 21.75k 左岸 24k 右岸 37k	川表小段クラック（幅 10cm,長 10m） 天端クラック（幅 1cm,長 700m） 坂路取り付け部クラック（幅 0.9cm,長 8m） 天端クラック（幅 0.5cm,長 250m,段差 2cm） 天端クラック（幅 0.7cm,長 16m） 天端クラック（幅 0.5cm,長 500m） 天端クラック（幅 0.9cm,長 50m） 天端クラック（幅 1cm,長 7.3m） 法面に段差 30cm	通行止め カラーコーンで仕切り 同 同 同 — カラーコーンで仕切り — —	クラックを除去し、築堤 砂を詰め、乳剤充填 同 同 同 同 同 同 同 法面補修を実施
矢場川 左岸 NO.39	天端クラック（幅 2cm,長 4m）	—	砂を詰め、乳剤充填
藤川 左岸 NO.8	天端クラック（幅 1cm,長 32.6m）	—	砂を詰め、乳剤充填
桐生川 右岸 9.2k	石積み崩落（長 5m）	カラーコーンで仕切り	石積み補修

なお、砂防施設には異常ありませんでした。